

令和元年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 上富良野町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 令和2年6月9日(火) (書面開催)

- (1) 外部有識者 上富良野町役場企画商工観光課 課長 辻 剛
一般社団法人かみふらの十勝岳観光協会 事務局長 長田公一

(2) 評価委員会(経営改善普及事業推進委員)

	委員長	江島 弘
	副委員長	西塚 邦夫
	委員	四釜 充啓
	委員	黄田 信行
	委員	高橋 明美
	委員	木津 晴美
	委員	小栗 敏朗
	オブザーバー	柳田 拓也(北海道商工会連合会道北支所)
事務局	事務局長	高尾 裕則
	経営指導員	多羽田 陽哉
	経営指導員	菊地 隆弘

3. 経過報告

令和2年6月4日に事務局から評価委員に対して、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面決議による開催を通知し、経営発達支援事業評価シートの評価に対し意見の聴取を求め発送した。令和2年6月9日までに評価委員から提出を受けた回答とそれに対する事務局回答は以下のとおり。

4. 内容

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、平成28年4月22日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業を書面報告となった。

(2) 令和元年度事業報告について

毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていく

また、令和元年度において、経営発達支援事業を推進していくために実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下のとおり。

(3) 事業の評価・見直し結果の内容について

・経営発達支援事業内容

①地域の経済動向調査に関すること

(1) 地域経済情報の交換会

目標	12回	実績	12回	自己評価	B
----	-----	----	-----	------	---

検証結果	職員間の情報共有により、経営指導員以外の職員の小規模事業者の抱える課題（経営状況等）や方向性に対する意識が高まった。今後も毎月初めに交換会を開催し知識を共有し、支援企業に対しての能力向上を図る
------	--

(2) 事業者意向調査

目標	1回	実績	0回	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	調査の代わりに事業者意向調査データ分析を活用し、巡回指導において、ヒアリングしたが、取りまとめではできなかったが、事業計画策定支援を行い、個社支援に繋がった。今後も事業者の意識の確認と意識改革の方策（集約・分析）、「診断シート」にまとめ、日頃の相談業務における重要資料として活用する。
------	--

(3) 情報提供件数

目標	10先	実績	20先	自己評価	B
----	-----	----	-----	------	---

検証結果	巡回訪問等において要望先に地域企業景気動向調査の資料を提示し、地域の状況を理解していただくことができた。また経営分析における外部環境の把握に活用できた。今後は金融機関と連携し、前年度同様に事業者へ情報提供していく。
------	---

②経営状況の分析に関すること

(1) 巡回訪問件数

目標	1,100件	実績	845件	自己評価	B
----	--------	----	------	------	---

検証結果	消費税引き上げによる消費税関連相談の増加に伴い、軽減税率制度説明会等を実施し軽減税率対策補助金・IT補助金の活用支援できた。 引き続き、数値目標を達成に向け、事業者の前向きな取り組みを支援していきたい。
------	--

(2) セミナー開催回数

目標	1回	実績	0回	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	セミナー実施できなかったが、個別相談対応に切り替え、事業者金融相談や経営分析を実施した。中長期の実効性を上げ、意識改革の向上に繋がった。巡回訪問等において要望先を把握し、経営意識の向上に繋げる。
------	---

(3) 経営分析件数

目標	14件	実績	34件	自己評価	A
----	-----	----	-----	------	---

検証結果	外部専門家（中小企業診断士）を活用し経営分析を行った。また、ネットde記帳による財務分析を実施。自社の経営分析を把握することでの経営改善と事業計画策定支援に繋がる。今後も事業者の個別商談を強化し支援していく。
------	--

③事業計画策定支援に関すること

(1) 支援セミナー開催数

目標	4回	実績	0回	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	セミナーは実施できなかったが個社の事業計画策定支援を15件行った。事業計画を策定した事業者の中期的の策定に繋げることができた。
------	---

(2) 事業計画策定件数

目標	30回	実績	15回	自己評価	C
----	-----	----	-----	------	---

検証結果	経営課題の解決、経営分析を行った上、事業を継続するための「道しるべ」となる事業計画策定を専門家に派遣し支援した。今後も引き続き専門家を活用し、経営ビジョンを明確にするためにも計画策定支援を行う。
------	---

(3) 金融斡旋支援件数

目標	45件	実績	21件	自己評価	B
----	-----	----	-----	------	---

検証結果	21件の斡旋支援に繋げることができた。引き続き、資金需要会員企業の安定に繋げたい。
------	---

④事業計画策定後の実施支援に関すること

(1) 事業計画策定後のフォローアップ支援件数

目標	100件	実績	36件	自己評価	B
----	------	----	-----	------	---

検証結果	事業者の経営に対する意識が変わってきた。引き続き、事業者の定期的なフォローアップを実施していく。
------	--

(2) 創業支援数

目標	2件	実績	1件	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	創業資金確保したことで創業に繋がった。今後も創業予定者に町の創業支援制度を働きかけ、創業支援に繋げる。
------	---

(3) 第二創業者支援数

目標	1件	実績	0件	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	相談案件なし 引き続き、巡回訪問で情報を収集し事業者を支援していく。
------	---------------------------------------

(4) 経営革新支援数

目標	1件	実績	0件	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	相談案件なし 引き続き、巡回訪問で情報を収集し事業者を支援していく。
------	---------------------------------------

(5) 事業承継者支援数

目標	2件	実績	3件	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	事業承継に役立つ知識を習得させることができた。 現経営者と次世代経営者が一緒に事業承継について認識を持ち、事業承継の知識と理解を深めて後継者の決定や準備を進めていくことが期待できる。
------	--

⑤ 需要動向調査に関すること

(1) 消費動向調査

目標	調査項目の見直し	実績	なし	自己評価	C
----	----------	----	----	------	---

検証結果	国の消費動向調査をもとに、事業計画策定支援を行った。今後も事業者へ情報提供し、策定支援を行う。
------	---

(2) 観光動向調査

目標	1	実績	なし	自己評価	C
----	---	----	----	------	---

検証結果	上川総合振興局の上川管内観光入込客数調査報告をもとに、インバウンド対応における事業計画策定支援を行った。今後も調査データを踏まえ、小規模事業者の策定支援に繋げる。
------	---

⑥ 新たな需要の開拓寄与する事業に関すること

(1) 新商品・新サービス開発等支援件数

目標	2件	実績	12件	自己評価	A
----	----	----	-----	------	---

検証結果	町の持続化補助金を活用し、新商品・新サービスを実施したことで、事業者の売上に貢献した。 引き続き、町の持続化補助金や国の補助金制度等を周知を行う。また、自社PRをグーグルマップ・SNS等を利用し事業者支援を実施していく。
------	---

(2) 物産展案内回数

目標	2回	実績	0回	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	案内周知を行ったが、参加者が見つからなかった 域内消費に留まらず、全国展開していくことで売上の拡大に繋がるため、今後も物産展開催の情報提供し積極的な参加を促す。
------	---

(3) ホームページ作成支援

目標	20先	実績	2件	自己評価	C
----	-----	----	----	------	---

検証結果	自社HP作成を町の持続化補助金を活用してHP作成を支援したことにより、集客増加に繋がった。今後もHP作成支援に留まらず、IT関連支援を実施していく。
------	--

(4) インバウンド対応支援

目標	20先	実績	3件	自己評価	C
----	-----	----	----	------	---

検証結果	<p>専門家による事業計画策定を支援後、インバウンド対応メニュー表・パンフレットを制作した。外国人観光客の接客対応を行ったことで売上増加に繋がった。</p> <p>新型コロナにより来年度、インバウンドが見込めない状況のため、支援内容を新商品・新サービス等の自社PRを行うため、インターネット(SNS)・Googleマップ活用して効果的な広告宣伝手法をサポートし、売上向上と利益確保に向けた支援へシフトする。</p>
------	---

- ・ 地域経済の活性化に資する取組

⑦認定計画の事業内容

(1) フットパス

目標	400人	実績	500人	自己評価	B
----	------	----	------	------	---

検証結果	20団体延べ500人以上のフットパス参加団体の受け入れを行った。交流人口の増加に伴い、町内における飲食・宿泊客数と消費購買が図られた。
------	---

(2) 十勝岳ヒルクライム

目標	450人	実績	155人	自己評価	B
----	------	----	------	------	---

検証結果	最大標高差 1050mの国立公園を含む山岳コース。制限時間で大自然を駆け抜け、頂上の十勝岳温泉ゴールを目指す大会を実施。交流人口の増加に伴い、町内における飲食・宿泊客数と消費購買が図られた。
------	---

(3) 十勝岳トレイル

目標	550人	実績	372人	自己評価	A
----	------	----	------	------	---

検証結果	上富良野・美瑛の十勝岳山麓がコースとなる絶景のポイント「55km エキスパートコース」、「15km チャレンジコース」の2種類の中からエントリーを募り実施。交流人口の増加に伴い、町内における飲食・宿泊客数と消費購買が図られた。
------	---

(4) サイクリストで街中にぎわい事業

目標	250人	実績	83人	自己評価	B
----	------	----	-----	------	---

検証結果	ニコニコペダル事業として全国に周知募集した。前回よりも参加者数が減少したが、町外の参加が増加したことで、町内における経済効果は増加した。 今後としては、参加料やポイント制の見直し、参加者の増加を図り、町内経済効果を高める。
------	--

- ・ 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

⑧他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(1) 諸関係機関との情報交換

目標	3	実績	0	自己評価	C
----	---	----	---	------	---

検証結果	町内金融機関との情報交換会を実施できなかった。 金融機関と連携を図り、情報を得ることで小規模事業者に対する円滑な金融支援等に役立てる。
------	--

(2) 町行政との情報交換

目標	2	実績	1	自己評価	B
----	---	----	---	------	---

検証結果	情報交換によって、情報共有が図られ、町行政と商工会の相互理解が一層深まるとともに、円滑な事業実施に繋がった。今後は、町理事者との懇談会を開催するなどして、町行政と商工会が商工業の振興に向けた理解をより一層深めていく。
------	--

(3) 広域連携協議会との情報交換

目標	2	実績	1	自己評価	B
----	---	----	---	------	---

検証結果	中富良野町商工会との広域連携協議会を実施。各商工会の伴走型小規模事業者推進事業について情報交換されたものの、広域として課題を掘り下げ「面」として取組支援策等の協議には至らなかった。 今後は、職員同士の情報交換の機会を設け、互いの地域の事業モデルを参考に一層の連携を深め、上富良野町商工会の実情に合った事業を取り入れるような仕組みを構築する。
------	---

⑨経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 経営指導員の情報交換

目標	地域資源支援	実績	地域資源支援	自己評価	B
----	--------	----	--------	------	---

検証結果	小規模事業者の支援ニーズへの対応力向上に繋がる。 事業内容を効率的・効果的に進めるため目標を設定する。
------	--

(2) 補助員・記帳専任・記帳指導職員の資質向上

目標	中小企業支援	実績	中小企業支援	自己評価	B
----	--------	----	--------	------	---

検証結果	職種や経験年数で差異が生じない支援力の底上げを図っていく必要がある。
------	------------------------------------

(3) O J T の開催

目標	3回	実績	3回	自己評価	B
----	----	----	----	------	---

検証結果	職員同士の相互理解を深め、資質向上に繋がった。 今後も引き続き、小規模事業者支援能力の向上に結びつく O J T を実施する。
------	--

⑩事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

(1) 経営改善普及事業推進委員会

目標	4回	実績	1回	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	経営改善普及事業推進委員会において、小規模事業者の実施状況、成果の評価、事業の見直しを行った。
------	---

(2) 関係機関の調整

目標	4回	実績	2回	自己評価	B
----	----	----	----	------	---

検証結果	日本政策金融公庫主催「小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会」において、上川管内の金融情勢及び各町村の地域動向の情報交換を行った。 今後も事業の実施内容に関わる関係団体と連絡調整を行っていく。
------	---

(3) 理事会開催数

目標	6回	実績	1回	自己評価	C
----	----	----	----	------	---

検証結果	<p>経営発達支援事業の進捗状況について支援状況報告した。理事会で評価・検証された指摘事項があった際には、軌道修正及び事業内容の確認を行い、その後の方針を決定、事業を実行した。</p> <p>今後も理事会開催の報告を行い、円滑な事業実施に努めていく。</p>
------	---

(4) 町への報告

目標	総会	実績	総会	自己評価	B
----	----	----	----	------	---

検証結果	<p>事業年度終了後の上富良野町商工会通常総会において、事業の成果・評価・見直し・活動の結果について承認を受け、上富良野町へ報告する。</p> <p>事業の進捗状況の報告を行うことにより、町が策定した「上富良野町商業振興計画」の施策展開の一助となり、町行政と商工会の相互理解が一層深まるとともに、円滑な事業実施に繋がる。</p> <p>上富良野町から提言された内容を理事会等で諮り、繰り返し事業計画に反映することで事業効果を高めていきたい。</p>
------	--

(5) 商工会員への報告

目標	4回	実績	1回	自己評価	B
----	----	----	----	------	---

検証結果	<p>事業の成果・評価・見直し活動の成果について、上富良野町商工会通常総会において報告する。小規模事業者に広く周知することで、上富良野町商工会事業について理解を求めていく。</p> <p>「商工会だより」にも実施結果を掲載し、当会HPに公表する。</p>
------	---

(4) 評価委員の回答、意見

②経済状況の分析に関すること

認定計画の事業内容	評価委員の回答
巡回訪問件数	巡回訪問による相談対応を引き続き行って小規模事業者の支援をお願いしたい
経営分析件数	自社の経営分析を行うことで経営改善に繋がるため引き続き、支援していただきたい。

⑥新たな需要の開拓寄与する事業に関すること

認定計画の事業内容	評価委員の回答、意見
インバウンド対応支援	本年度は新型コロナウイルス感染症の影響によってインバウンドが見込めないためどのような取り組みを行うのか。

事務局書面回答	昨年度から行ってきた重点支援内容であるインバウンド対応メニュー表及びパンフレット（外国語標記）の導入支援から、新商品及び新サービス等の自社PRを行うため、インターネット（SNS）やグルマップを活用して効果的な広告宣伝手法をサポートし、売上向上と利益確保に向けた支援へシフトする。
---------	---

以上、議事の経過と要領について記載し、その正確なることを証するため事務局により議事録を作成した。 令和2年6月10日